

安全データシート

改訂日2019年11月25日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : 炭酸ストロンチウム
会社名 : チカモチ純薬株式会社
住所 : 大阪市北区大淀南1-9-16(山彦ビル)
担当部門 : 営業部
電話番号 : 06-6453-2062
FAX番号 : 06-6453-2063

2. 危険有害性の要約

GHS分類

皮膚腐食性/刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷性/刺激性 : 区分2A
特定標的臓器毒性(単回暴露) : 区分3
区分3 気道刺激性

GHSラベル要素



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報

H315 - 皮膚刺激をおこす
H319 - 強い眼刺激をおこす
H335 - 呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

安全対策

取扱い後には顔や手など、暴露した皮膚を洗う。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
粉じん、蒸気、ガス、ミスト、フェーム、スプレーの吸入を避けること。
室外もしくはよく換気された場所でのみ使用すること。

応急処置

眼に入った場合、数分間目を閉じて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。
眼の刺激が続く場合、医師の治療を受けること。
皮膚に付着した場合、多量の水と洗剤で洗浄する。

皮膚に炎症が出た場合、医師の診断、処置を受けてください。
汚染された衣服を脱ぎ、再利用前に洗濯すること。
吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移動させ、呼吸が楽な姿勢で休憩させる。
体調がすぐれない場合、毒物管理センター、医師に連絡すること。

貯蔵

容器をしっかり閉め、よく換気された場所で保管。
施錠して保管。

廃棄

内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学名又は一般名	: 炭酸ストロンチウム
含有量	: 95.0%
化学式	: SrCO ₃
分子量	: 147.63
化審法番号	: (1)-171
CAS番号	: 1633-05-2
安衛法官報公示番号	: N/A

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

眼に入った場合、数分間気を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護

個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤

水スプレー(水噴霧), 二酸化炭素(CO₂), 泡, 粉末消火剤, 砂
使ってはならない消火剤

利用可能な情報はない

特有の消火方法

- 利用可能な情報はない
- 火災時の特有危険有害性
 - 熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。
- 消火を行なう者の保護
 - 個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和

利用可能な情報はない

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。

注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

個人用保護具を着用すること。

保管

安全な保管条件

保管条件 直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

安全な容器包装材料 ポリプロピレン

混触禁止物質 強酸化剤

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

暴露限界

この供給された製品は地域の特定取締機関によって発行された職業暴露限界値のある有害危険物含有していない。

保護具

呼吸器用保護具 防塵マスク
手の保護具 保護手袋
眼の保護具 側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)
皮膚及び身体の保護具 長袖作業衣

適切な衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

色：白色～ほとんど白色
性状：粉末
臭い：データなし
pH：データなし
初留点/沸点：データなし
融点/凝固点：1340 °C (分解)
引火点：データなし
蒸発速度：データなし
燃焼性(固体、ガス)：データなし
燃焼又は爆発範囲
上限：データなし
下限：データなし
蒸気圧：データなし
蒸気密度：データなし
比重/密度: 3.7
溶解度
希塩酸：溶ける。
n-オクタノール/水分配係数 データなし
自然発火温度 データなし
分解温度 データなし
粘度(粘性率) データなし
動粘度 データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

安定性 推奨保管条件下で安定。

反応性 データなし

危険有害反応可能性

通常の処理ではなし。

避けるべき条件

高温と直射日光

混触危険物質

強酸化剤

危険有害な分解生成物

一酸化炭素(CO), 二酸化炭素(CO₂), 金属酸化物

11. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回暴露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復暴露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	利用可能な情報はない
その他のデータ	データなし
残留性・分解性	利用可能な情報はない
生体蓄積性	利用可能な情報はない
土壤中の移動性	利用可能な情報はない
オゾン層への有害性	利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

汚染容器及び包装

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意

ADR/RID(陸上) 規制されていない。

国連番号	-
品名	
国連分類	
副次危険性	
容器等級	
海洋汚染物質	非該当
IMDG(海上)	規制されていない。
国連番号	-
品名	
国連分類	
副次危険性	
容器等級	
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78 や IBC コードに則つ	利用可能な情報はない
たバルクの輸送	
IATA(航空)	規制されていない。
国連番号	-
品名	
国連分類	
副次危険性	
容器等級	
環境有害物質	非該当

15. 適用法令

国際インベントリー	
EINECS/ELINCS	収載
TSCA	収載
国内法規	
消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当
危険物船舶運送及び貯蔵規則	非該当
航空法	非該当
PRTR 法	非該当
輸出貿易管理令	非該当

16. その他の情報

参考文献
 NITE: 独立行政法人
 製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>
 IATA 危険物規則書

RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances
中央労働災害防止協会 GHS モデル SDS 情報
有機合成化学辞典（社）有機合成化学協会講談社サイエンティフィック
化学大辞典共立出版

この安全データシート(SDS)は、JISZ7253:2012に準じており、記載されている内容は、発行時点において、入手可能な情報・データに基づいて作成しています。運搬・開封から廃棄に至るまで、安全を最優先に、ご自身の責任においてご使用下さい。また、ここでの注意事項は通常の取扱い方をすることを前提に記載しており、他の製品と混ぜ合わすなどの特殊な取扱い方法は想定しておりません。その際は、使用環境に適した安全対策を自ら実施し、安全確保の上、ご利用下さい。なお、全ての製品には、未知の危険性を有する可能性があります。新たな知見が得られた時は、許可無く変更する場合があります。また、物性値や危険有害性情報などは、弊社製品規格書等とは異なることもありますが、いかなる保証をなすものでもありません。